

団体名		一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団						
事業部	① 指標名	むさしの給食・食育フェスタ及び小学校給食体験講座 参加者数の前年度比増			目標値	平成27年度比増	実績値	(フェスタ)312 (講座)38
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	105.7%	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位: 人)	(フェスタ)239	(フェスタ)394	(フェスタ)302 (講座)29				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 給食・食育フェスタは、平成27年度同様、夏休み後半の8月下旬の20日に実施日を設定した。オリンピック開催年に合わせ、「目指せ！食のメダリスト」といったネーミングを取り入れたり、広報チラシの配布先に商工会議所の協力を得て、商店会連合会に「チラシ」を置いてもらうなど、広報に力を入れた。 小学校給食体験講座は、小学校入学前の保護者に対し、小学校を「食」の観点から知ってもらうために、市子ども政策課・教育委員会の共催で、平成27年度からの新規事業であるが、平成28年度は開催回数を増やしプログラムの工夫を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 体験型イベントである給食・食育フェスタは、児童生徒から大人まで幅広い年代層の参加を得ており、荒天にもかかわらず前年度より微増した。小学校給食体験講座は「食」について学んでもらうことを目的に様々なレシピ紹介を行い、前年度より開催数を1回増やした(2回→3回)こともあり前年度より増加した。						
二次評価	給食・食育フェスタ及び小学校給食体験講座参加者数が共に増加したことを評価する。今後も広報等を強化するとともに、プログラム内容や実施時期など工夫し、さらなる参加者増を期待する。							
財務部	② 指標名	学校給食提供コストの前年度比減			目標値	平成27年度比減	実績値	527
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	96.4%	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位: 円)	521	512	508				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・契約等の見直しによる物件費の削減 ・適正な職員数の把握及び維持 ・市派遣職員の配置換え等による減員に伴う財団職員への移行を目指したが、結果的には市派遣による運転手の増員となった。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 前年決算対比で、市派遣職員の増員等による人件費の増加や施設の老朽化等による市の管理経費の増加などにより、給食提供等に係る経費総額は前年度と比して増となった。児童・生徒数は前年度同様増加したため食数も増加したが、提供コストは増となった。						
二次評価	人件費増に伴う提供コスト増について認識している。今後も廉価でかつ安全な給食の提供に努めていきたい。							
管理部	③ 指標名	執行体制の簡素・効率化 (市派遣職員を財団固有職員への段階的な移行)			目標値	(市派遣) 1 (固有昇任) 3	実績値	(市派遣) △ 1 (固有昇任) 3
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	50.0%	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位: 人)	3	2	(市派遣) 3 (固有昇任) 5				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・学校給食の安全及び調理等のレベルを維持することを前提に、段階的に市派遣職員を削減し、団体固有職員へ移行する。 ・しかし、将来の組織の在り方がまだ明確ではないので、財団固有職員の昇任スピードについては当面、慎重に対応する。また、技能長については財団固有職員を抜擢するには経験が不足しているため、当面、市派遣職員の配置を要請する。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・平成27年度末で市派遣の北町調理場の技能長が退職し、調理部門の係長が不在となったため、両調理場の技能主任にチーフ、サブチーフを置き現場全体の統括に努めた。また技能主任としての業務能力の向上のための研修等に取り組んだ。 ・市派遣職員については、運転手2名を受け入れたために、結果的に1名の増員となった。						
二次評価	固有職員の人材育成を進め、給食の質と安全の確保に努めながら、自立化に向けた効率化を図っていただきたい。							